



## 東地申第5号「首都圏本部におけるワンマン運転の実施 について」に関する解明申し入れ団体交渉を実施②

(組)お客さまのご利用状況を勘案とは？

(会)当社のワンマン運転は長・中・短編成がある。お客さまのご利用状況に合わせて判断している。

(組)お客さまや自治体への周知は当社として、ワンマン運転実施にあたり必要な条件か。

(会)世の中から理解頂くため自治体に説明している。ポスターを貼るなどお客さまにも周知していく。

①からの続き

4. 長編成ワンマン及び常磐緩行線のワンマン運転におけるマニュアルや説明書を具体的に示すこと。

【回答】長編成ワンマン運転におけるマニュアル類については、今後必要により整備を検討していく考えである。なお、常磐緩行線のワンマン運転におけるマニュアル類については、関係箇所と調整しながら作成しているところである。

### 《確認事項》

綾瀬運輸区でワンマン運転に関する訓練資料は、後ほど組合に示す。

5. 常磐緩行線にてワンマン運転を実施する目的と根拠を具体的に示すこと。

【回答】ワンマン運転は、線区や区間を限定せず、安全の確保をベースとして業務を高度化し、人口減少や技術の進展等の社会環境の急速な変化に対応しながら、お客さまが求める輸送サービスを提供していくために実現するものであり、常磐緩行線はワンマン運転実施に必要な準備が整う見込みが立ったことから実施するものである。

(組)なぜ常磐緩行線が最初にワンマンとなるのか。

(会)自治体のご協力も頂きつつ、ホームドア、車両の改造が順調に進んだ。編成両数も変わらないため。確認

(組)スマートホームドアは危険だと危惧があるが。

(会)見た目として空間があるが、ご意見を頂きながら改良をしてきた。

(組)ワンマンになるので、スマートではなく、遮蔽できるドアにするべきではないか。

(会)現段階では今の壁式と同等の安全レベルだという認識。触車もほぼないと聞いている。今後変更する計画はない。確認

6. 常磐緩行線のワンマン運転について関係する自治体やお客さまへの周知の時期と方法について具体的に示すこと。

【回答】2024年11月6日及び12月13日にプレスリリースを行ったところであり、関係する自治体にも説明を行っている。なお、引き続き必要な周知は行っていく考えである。

(組)お客さま周知はいつからどのように周知するのか？

(会)2025年年明けから2月にかけて、車内放送、駅にポスターを貼る事を進める。確認

(組)ワンマン運転に理解を示しているのか？

(会)設備投資もしながら少ない人間で鉄道のオペレーションを維持していくとの考え方に理解頂いた。確認

(組)ポスターの作製、内容は誰が考えるのか？

(会)綾瀬運輸区のPTで作成する。必ず周知して欲しい事項は会社が伝えたいうえでアレンジしていく。全て現場任せではない。

その③へ